

爪切り屋メディカルフットケアJF協会 協会通信

NO.7

2010年6月 日発行

編集・発行/爪切り屋メディカルフットケアJF協会 広報委員会
〒179-0085 東京都練馬区早宮 3-12-5 TEL03-3992-1824 FAX03-3992-3309

最近の宮川会長

連載「私とフットケア」は今回お休みします
「教室にて」



早宮教室規定講習の合間に九州支部へ、また、講演へと変わらず忙しく活動しています。

講演は一般の方への「家庭でできるフットケア」からがんのリンパ浮腫研究会のサテライト講演等、演者として招かれています。厚労省より受託された地域雇用創造推進事業の中の福祉サービス学科リスタートコース、人材育成支援事業に伴う介護職員養成研修、社会福祉協議会の高齢者フットケア事業、介護スキルアップ研修、介護福祉士養成連絡協議会での大学での研修会（対象者は高校生から大学教員まで）、施設研修会等があげられます。

「現代農業」出版社〈(社)農山漁村文化協会〉という冊子に連載で執筆しています。また、「達人ナース」出版社〈(株)日総研〉の連載も始まりました。

「フットケア」は幅広くいろいろな分野に認知されるようになって来た事を感じます。

平成22年度定時総会報告・・・2010・4・25

2010年4月25日に中野サンプラザ 第6研修会場において、「爪切り屋」メディカルフットケアJF協会平成22年度定時総会が出席者27名、委任状46名（会員総数91名）で大須賀理事を司会、会長指名にて本林会員を議長として開催されました。

事業計画・予算決算については原案通り可決されました。

- 本年度は理事が改選され、副会長に大須賀氏・加藤氏・橋本氏が立選され承認されました。委員会委員も変更されました。その他詳細については、送付済みの総会議事録をご確認下さい。

会員報告：平成22年第1回研修会・・・2010.4.25

平成22年度定時総会が午前に行われ、午後からは平成22年度第1回研修会と会員報告が38名の参加で行われました。会員報告は折笠無我氏と武蔵加乃子氏が報告されました。



○報告者 介護予防団体ほっとさぼーと 折笠 無我

フットケアとの出会い♪日経新聞の記事（平成15年夏）

まずは爪切りの重要性を知ってもらうことから始めようと考えた。岩手の施設にはフットケアのできる人材が一人はいるような体制を作りたいという気持ちから始まった。

宮川先生に連絡し、100名集めたら講演に来て頂ける事を約束した。

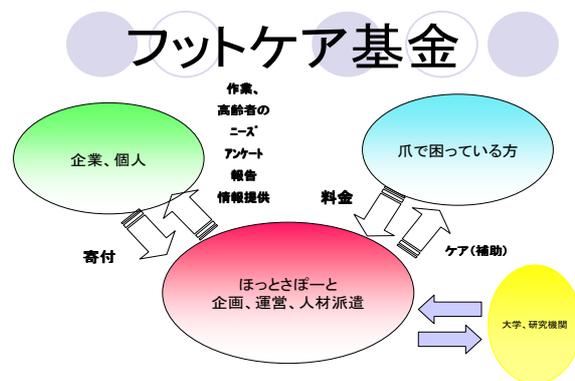
そして、産・学・官・市民が一体となり介護予防プログラムを実施し、健康でいきがいのある長寿社会を作るという理念のもと介護予防団体ほっとさぼーとを設立する運びとなった。会長へ正式に講演依頼の後、第1回講演会を開催し、200名を超える参加者が集まり大成功をおさめた。

しかし、反省会で話し合いをもつが今後の課題も山積み……自分がどうしたいのかわからなくなる時期もあった。

平成16年から第1回講演会の方にフォロー講座をはじめ、「常時スタッフがいない・お金がない・人脈なし」の中で、人材育成を続ける方法を考える。平成17年に助成金申請をする。この申請が内定し講座準備を開始できた。

一期生17年9月20日～18年3月は宮川先生の講座、その後20年まで橋本先生のもと講座を続ける。一期生卒業生である後藤厚子氏が資格講座を開始し、5日間講座も開催する。卒業生はそれぞれ糖尿病外来や訪問看護でフットケアを行い活躍している。

今回の報告では、折笠氏の「思い」が強くメッセージとして心に残りました。フットケアは意義があり、役割があり、喜ばれる仕事であると信じて行動し続けながら自問自答を繰り返し、あきらめず活動してきた「思い」に頭がさがりました。(高橋)



○報告者 つめきりサロン かのこ 武蔵加乃子

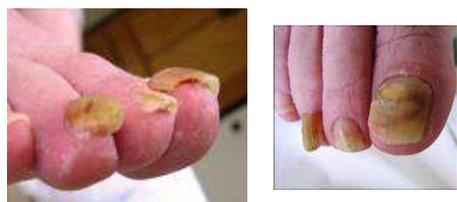


ほっとさぼーと1期生として講座に参加し、宮川先生・橋本先生の指導を受ける。介護施設実習では、はじめての巻き爪に不安と緊張でどきどきし苦戦したこともあった。その後フットケアワーカーとして活動しながら、岩手県立大学福祉学部にてハンドケア・フットケアのジョイント講習会、清和病院職員勉強会(合計3回実施)員勉強会等経験をした。現在は介護施設や自宅に訪問にてフットケアを行う。介護予防教室での講演会や、小中学校PTA向けの講演会も行っている。技術的にも悩む時もあり仕事としてもどの様に広げていけるのか、考え落ち込む時もある。そんな時はお客様の喜びの声が励みになる。最近お客様から「爪を切る仕事だけどこれは心のケアになる仕事だね～」とおっしゃって頂き、宮川先生のお言葉を実感する日々。

「第1期生修了～始まり」

「これからの課題」

症例 1 ケア前



症例 1 ケア後



症例 2 ケア前



症例 2 ケア2回目



平成22年度第 回研修会 特別講演・・・2010. 4. 25

○特別講演「足と爪の病気の治療とフットケア」 講師：済生会川口総合病院 皮膚科主任部長 加藤 卓朗 先生

今年も第1回研修会は済生会川口総合病院、皮膚科、加藤卓朗先生「足と爪の病気の治療とフットケア」のテーマで講演していただきました。主な内容は足と爪の病気の治療でした。ここでは足の爪のおもな病気に関係した部分を表にまとめてご紹介します。

巻き爪	病態：爪の側縁が皮膚に刺入し生じる炎症 誘因：深爪、慢性刺激、外傷、足の変形 症状：疼痛、発赤、腫脹、肉芽、細菌感染の併発	巻き爪・陥入爪の治療 ・炎症・肉芽に対して 抗生剤内外用、切開排膿 ステロイド剤外用 肉芽の切除・除去 ・手術療法 切除術 フェノール法 ・爪の矯正など 繊維の挿入 ガター法 超弾性ワイヤー法 B/Sプレイス法 アクリル人工爪
陥入爪	病態：爪甲が内側に湾曲し、爪床を挟む状態 誘因：先端の細い不適切な靴、慢性刺激、爪白癬 症状：爪の湾曲、疼痛、発赤、腫脹	
厚硬爪	病態：生活習慣に伴う爪の変形と肥厚 誘因：深爪、爪甲の脱落（外傷） 不適切は靴着用などの生活習慣 足の変形（外反母趾） 症状：爪甲の混濁、肥厚、硬化、変形 高度で角のようになると鉤湾爪 治療：爪のケア（適切に切る、削る）	
ひょう疽 (化膿性爪周囲炎)	病態：爪周囲の細菌性急性炎症 誘因：陥入爪、巻き爪、深爪、外傷、物理的刺激 症状：爪囲の発赤、腫脹、膿瘍化 診断：細菌培養（起炎菌の分離） 治療：抗生剤内服、切開・排膿	

ここが知りたい フットケア

Q 巻き爪のケアについて、ゾンデ・ニッパーの入れ方について具体的に教えて下さい

A 〈アセスメント〉

- ・ 形 (n・o・c・L)
- ・ 厚さ (厚い・薄い)
- ・ 伸び (伸び過ぎ・深爪)
- ・ 爪囲の皮膚の状態

〈ゾンデの使い方〉

- ・ ゾンデで爪と皮膚を分けるこの時、爪に対しゾンデは形の通りにあてる

〈角質除去〉

- ・ 爪にそって、内側・外側の角質を皮膚に負担のかからないようにとる。
- ・ 爪床溝の巻いてる部分の角質は注意し取り除く（ゾンデが通らないとニッパーも入らない）

〈ニッパーの使い方〉

- ・ 巻き爪は垂直に切る
- ・ 刃が入りにくい部分は、中指で皮膚をたるませ土台下刃をしっかり当て切る。
- ・ 巻き込みの強い場合は、爪先をV字に切り込み中心より半分切り、片方の半分はお客様の横に並び切りやすい位置で切る。
- ・ 爪切りの後は必ずヤスリをかける。
- ・ 巻き爪の改善や痛みの軽減に線維をはさむこともある。
- ・ 爪の湾曲下部分は肥厚している場合が多いため、厚みを整える事が大切である（削ってから切り始める）



* 矢印のように爪の形のとおりをゾンデをあてる

会員限定講習 「基本技術」・・2010. 05. 09 橋本先生

5月9日 会員限定講習
基本技術

参加者：7名

会員の皆様には通知が遅れましたので、先般お伝えしたように、再度企画ご連絡します。

参加者は皆さん真剣そのものでした。

開講している方は特に技術の大切なポイントを取得しようと意欲的に勉強されていました。

JF協会会員の技術レベルをより安定したものにする上でも、

また、情報交換の場としても、会員限定講習が充実したものになるよう皆様のご参加とご意見等お待ちしております。



- 1 日時 平成22年8月28日(土) 10:00～12:00
- 2 場所:中野サンプラザ 研修室11
- 3 参加者 宮川会長 安橋本 大須賀 加藤 関根 大河原 折笠 宮垣 木村 米島
欠席者 本林 (委任状あり)
- 4 決定事項
 - 1) 定款・細則について会員に送る書類(たたきだい総務委員会制作)の検討内容を検討し修正を加える。総務委員会で再調整し会員に送付する。
 - 2) スタンダード版について
 - ・会長より 活用の仕方と内容の充実について今後も取り組みが必要
 - ・木村氏より家庭用の爪切りを使った爪切りの技術についてプラスしたらどうか。一同賛成
 - ・写真等をレジュメ、資料に掲載する場合はその出所を明記する必要がある。
 - ・スタンダード版から発展し、写真・図等も協会として会員が共有し、必要な時にいつでも使用できるようなシステムを作ったらいいのではないかという意見が出る
 - 3) 第16回研修会について
すでにご案内を送付致しました内容に決定

研修委員会からのお知らせ

「第15回研修会」について

日時:8月28日(土)受付13:00から 開始13:30から
場所:中野サンプラザ 研修室 11
内容:「宮川式フットケアに使用するグラインダー・ビットについて」の紹介説明

浦和工業㈱ 木村 隆 氏

- * 胼胝・うおのめ・肥厚爪・等ケアする場合のビット選び、回転数
- * 使用する上で起こりやすいトラブルについて
- * ビット・グラインダーのメンテナンスについて
- * 物品販売
- *

皆様のご参加をお待ちしています!

=事務局からのお知らせ=

本年度年会費¥10,000の納入は6月末までのお振込みとなります。

振込先 ゆうちょ銀行 記号10080 番号97327611

*他金融機関からの振込み

店名 ○○八(せっぽち) 店番008普通預金9732761

会員証については以下の通りです。

- ①写真 (議事録の決定をご覧ください)
- ②返信用封筒 (切手貼付)
- ①・②とともに同封し、お送りください。

編集後記

今後とも会員の皆様のご意見を頂きながらより良い広報誌にしたいと思います。

広報担当 関根・高橋